

## やさしさあふれる『おかえりなさい』 第28回おかえりなさいコンサート

5月19日、今年で28回目を迎える「おかえりなさいコンサート」が白鷹町蚕桑地区コミュニティセンターで行われました。

今回は陽光学園や桃色ハーモニーなど6組が出演され、躍動感あふれるダンスや心に響くハーモニー、コミカルな寸劇などが披露され、会場は大いに盛り上がりました。最後はテーマソングである「笑顔の君が好きだから」を歌い上げ、観衆を魅了しました。

おかえりなさいコンサートは、出演者とボランティアスタッフによる手作りのコンサートです。多くの方の優しさで今年も素晴らしいコンサートとなりました。



手話も交えた素晴らしいハーモニーが場内を包み込みました

## 五感を研ぎ澄ませて、自然を学ぶ 東根小学校「緑の少年団」結団式

5月28日、東根小学校校林の宝山にて「緑の少年団」結団式が行われました。

新たに入団した4年生には6年生より緑の帽子、ワッペン、バンダナが授与されました。シンガーソングライターの金田稔さん（広野）もかけつけ、歌を披露。素敵な歌声に耳を傾けた後は全員で「リメンバー宝山」を合唱しました。続けて、森林インストラクターや県の職員を講師に森林を探索。五感を研ぎ澄ませて見つけた自然の不思議を丁寧に解説してもらい、驚きと発見に心を躍らせました。



森林インストラクターの話に興味津津な様子の児童たち

## 白鷹中学校1年生による紅花栽培 間引いた若菜を給食で味わう

5月28日、白鷹中学校1年生による間引き作業が行われました。

4月にまいた種は順調に成長しており、今回は若菜と若菜の間が5センチ間隔になるように間引き作業を実施。所々で雨に見舞われ、濡れながらの作業となりましたが丁寧に作業を進め、途中からは収穫と選別のチームに分かれての作業となり、生徒たちの連携により約1時間で完了。収穫した若菜は、町内の小学校で収穫されたものと合わせて調理場で調理し、翌日の給食に「紅花の若菜入りドライカレー」として提供されました。食べた生徒は「おいしい！」と笑顔を浮かべました。



若菜を摘む生徒たち



「紅花の若菜入りドライカレー」をおいしそうに頬張った

## 中山間地域のスマート農業にむけて 自走式草刈機による実演会

5月12日、中山の棚田にてラジコン草刈機の実演会が開かれました。この草刈機はハイブリット仕様で最大傾斜45度まで作業可能な新開発のラジコン操縦型の自走式機械です。

導入予定の中山集落協定は、約90ヘクタールの田んぼを手掛けていますが、生産者の高齢化が進んでおり、急傾斜となる畦畔は面積も大きく、管理のための草刈は大きな負担となっています。

この度の草刈機の導入によって作業の省力化や安全性が向上し、中山間地域の耕作維持につながることを期待されています。



自走式草刈機を操縦している様子

## 白鷹山山頂で広げる交流の輪 白鷹山夏山開き

「高い山の日」の5月13日、恒例の「白鷹山夏山開き」が開催され、白鷹山を境とする山形市、上山市、南陽市、山辺町、そして白鷹町の関係者や登山客など多くの方が参加しました。白鷹山での無事故を祈願したあと、佐藤町長より夏山開き宣言が行われ、関係者が情報交換を行いました。

その後開催された「しらたか山ヤングサミット2019」では、荒砥小学校5年生、作谷沢小学校（山辺町）、荻小学校（南陽市）の児童が、お互いに手作りした名刺を緊張した面持ちながらもしっかりと渡すことができ、笑顔で新たな仲間たちと交流を深めました。



① 白鷹町長による夏山開き宣言が行われている様子  
② 白鷹山山頂にてヤングサミットが開会される様子



## 食を支える農業の尊さを学ぶ 「田んぼの学校」で田植え体験

5月16日、鮎貝小学校の5年生33人がサンファームしらたか前の田んぼで田植え体験を行いました。

カエルやタニシなどの田んぼの生物に驚き、また、泥の中を歩くことにさえ悪戦苦闘していた子どもたちも、農家の方からコツを教えてもらって徐々に慣れてきて、とても楽しそうにもち米の苗を植えることができました。

田植え終了後は、地域の方が作ったおにぎりと山菜汁で「さなぶり」を体験。頑張った後の食事は格別で「おいしい！」と笑顔で頬張りました。秋の収穫が今から楽しみです。



転びそうになりながらも田植えを楽しむ児童たち